

サポートセンターかがやき 職員向けアンケート

令和4年度

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・体制整備について	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		1	・2階のスペースに利用者20名は多い →指導訓練室、職員の配置等については、基準を満たしている。環境整備、物品の配置などで工夫をしていくことは随時必要 定期的な消毒と清掃をしており清潔に保たれている。また、全て可動式の家具なので個別に応じて環境調整を工夫することができる
	2	職員の配置数は適切であるか	2	4		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5	1		
	4	清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子供達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
業務改善	5	業務改善を進めるための、PDACサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	4	2		外部研修の機会は減ってきている。オンライン研修会などを積極的に取り入れていきたいと考えている。
	6	保護者向け自己評価表及び保護者向け評価表を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか。	4	2		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4		
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	1		定期的には保護者との話し合いを行い、家での様子・園での様子・老育現場での様子を聞かせるしながら、支援計画の設定にもつなげている 必要に応じてケース検討を行い、目標設定や支援方法の検討を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか。	6			

適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	4	2		療育開始前（午前・午後）に、打ち合わせを行い、留意点などの確認し、支援を行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	3			記録の時間に、今日の支援の良い点、注意点などを話し合い次の療育につなげていけるようにしている。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1			
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				必要に応じて保護者の方や職員間で意見交換を行い、半年ごとに見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		相談支援事業所、保健師等、各関係機関と随時連絡を取り合い、利用児の情報交換等を行い情報の共有と理解に努めている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	3			
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼児部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1			移行支援シートの作成を保育士の意見を聞きながら行い、情報提供を行う。利用児がスムーズに移行できるように努めている。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2			
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	3	3		現在、療育中での交流はない	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2		
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議棟へ積極的に参加しているか	3	3			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2			その日の様子をお帳面に記入し、家族に伝え、利用児の発達や状況について共通理解が持てるようにしている。 コロナ対策のため、保護者の勉強会（懇親会）も実施できていない。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか	3	2	1		
保護者への説明責任等	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に説明を行い、同意を得ている。	
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			見学や契約時のアセスメントを踏まえ、支援計画の作成を行い、保護者に説明を行い同意を得て支援を行っている。	

保護者への説明責任等	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者回等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	1	以前は、年2回の懇親会と年1回の交流会を行っていたが、コロナ対策のため中止にしている。今後はやり方を工夫し実施できるようにしたい。
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合迅速かつ適切に対応しているか	4	2		保護者からの依頼がある時等には、その都度情報の提供や相談などを行い対応している。
	35	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		ラインチャットにて、日々の活動の写真掲載やお知らせ等を発信している
	36	個人情報に十分注意しているか	6			
	37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4		以前は、同グループの事業所と合同で年1回実施していたが、コロナ対策のため中止している
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2		防災訓練は、年2回行っている。保護者に向けても、ラインチャットで訓練の様子を掲載し情報共有を行っている。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施しているか	6			
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6			
	42	植物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		現在、利用児の中にはアレルギーの対応児はいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			事例について、その都度回覧、話し合いを行い、全職員が意識して支援に当たれるように配慮している。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	4		虐待防止の研修などに参加して、事業所内でも、ミーティングなどで勉強会を行っている。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	3	3		